

Newシルキーパレット
ステージサンド仕上げ
施工の手引き

平成20年8月作成

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー 技術部
建設樹脂グループ

目次

Newシルキーパレット20シリーズ

使用材料 3ページ

施工方法 4ページ

Newシルキーパレット25シリーズ

使用材料 5ページ

施工方法 6ページ

Newシルキーパレット55シリーズ

使用材料 7ページ

施工方法 8ページ

共通)

適用下地 9ページ

主な施工道具 9ページ

施工のポイント . . . 10ページ

施工の注意事項 . . . 11ページ

不燃仕様の対象パターンについて 11ページ

Newシルキーパレット20シリーズ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 20シリーズ 標準色 JQ - 20T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 20T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 20 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^レ -缶	主材 約10m ² /缶
骨 材	JF - 3 JF - 65	寒水石3厘 セラミックサンド	(20kg袋入 (3kg袋入	約40m ²) 約36m ²)

Newシルキーパレット20シリーズ

<ステージサンド仕上げ施工方法>

1. 主材 下塗り

配 合	JQ - 20シリーズ	20kg
	JF - 3	10kg
	清 水	1.3~2ℓ
塗布量	約1.5kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて薄く塗り、ランダムに荒した後、出た鋺波を消すように平滑に押さえる。(図 - 1)	

夏期 8時間以上
 冬期 12時間以上
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 主材 上塗り

配 合	JQ - 20シリーズ	20kg
	JF - 65	2kg
	清 水	2~2.5ℓ
塗布量	約1.0kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて均一に塗布する。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を混練する際は、JQ - 20 JF - 65の順に入れ、清水はJF - 65全体に染み渡る様に加えてから攪拌を行う。 ・調合した材料を配る時、コテのエッジをたて、JF - 65をすり潰しながら薄く配って、扇状に塗りパターン付けをする。(図 - 2) 	

20 ~ 30分程度後

5. 仕上げ

・仕上ゴテにて平滑に仕上げる。

JQ - 01 - 07 - 01
 (JQ ステージサンド)

Newシルキーパレット25シリーズ

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 25シリーズ 標準色 JQ - 25T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 25T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 25 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^缶 - 缶	主材 約10m ² /缶
骨 材	JF - 3 JF - 65	寒水石3厘 セラミックサンド	(20kg袋入 (3kg袋入	約40m ²) 約36m ²)

Newシルキーパレット25シリーズ

<ステージサンド仕上げ施工方法>

1. 主材 下塗り

配 合	JQ - 25シリーズ	20kg
	JF - 3	10kg
	清 水	1.3~2ℓ
塗 布 量	約1.5kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて薄く塗り、ランダムに荒した後、出た鋸波を消すように平滑に押さえる。(図 - 1)	

夏期 8時間以上
 冬期 12時間以上
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 主材 上塗り

配 合	JQ - 25シリーズ	20kg
	JF - 65	2kg
	清 水	2~2.5ℓ
塗 布 量	約1.0kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて均一に塗布する。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を混練する際は、JQ - 20 JF - 65の順に入れ、清水はJF - 65全体に染み渡る様に加えてから攪拌を行う。 ・調合した材料を配る時、コテのエッジをたて、JF - 65をすり潰しながら薄く配って、扇状に塗りパターン付けをする。(図 - 2) 	

20 ~ 30分程度後

3. 仕上げ

・仕上ゴテにて平滑に仕上げる。

Newシルキーパレット55シリーズ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
主 材	Newシルキーパレット JQ - 55シリーズ 標準色 JQ - 55T (...1000 ~ 2999) 特注色 JQ - 55T (...3000 ~ 6999) 又は JQ - 55 (...英字 , ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^缶 - 缶	主材 約10m ² /缶
骨 材	JF - 3 JF - 65	寒水石3厘 セラミックサンド	(20kg袋入 (3kg袋入	約40m ²) 約36m ²)

Newシルキーパレット55シリーズ

<ステージサンド仕上げ施工方法>

1. 主材 下塗り

配 合	JQ - 55シリーズ	20kg
	JF - 3	10kg
	清 水	1.3~2ℓ
塗布量	約1.5kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて薄く塗り、ランダムに荒した後、出た鋸波を消すように平滑に押さえる。(図 - 1)	

夏期 8時間以上
 冬期 12時間以上
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

2. 主材 上塗り

配 合	JQ - 55シリーズ	20kg
	JF - 65	2kg
	清 水	2~2.5ℓ
塗布量	約1.0kg/m ²	
施工方法	ステンレスゴテにて均一に塗布する。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を混練する際は、JQ - 20 JF - 65の順に入れ、清水はJF - 65全体に染み渡る様に加えてから攪拌を行う。 ・調合した材料を配る時、コテのエッジをたて、JF - 65をすり潰しながら薄く配って、扇状に塗りパターン付けをする。(図 - 2) 	

20 ~ 30分程度後

3. 仕上げ

・仕上ゴテにて平滑に仕上げる。

<適用下地>

- ・石膏ボード等

下地によりシーラーを選定し、使用してください。

例) 合板の場合：アク止めシーラーJS - 90

<主な施工道具>

- ・ステンレスゴテ
- ・仕上げコテ(ステンレス製の腰が柔らかいコテ)

< 施工のポイント >

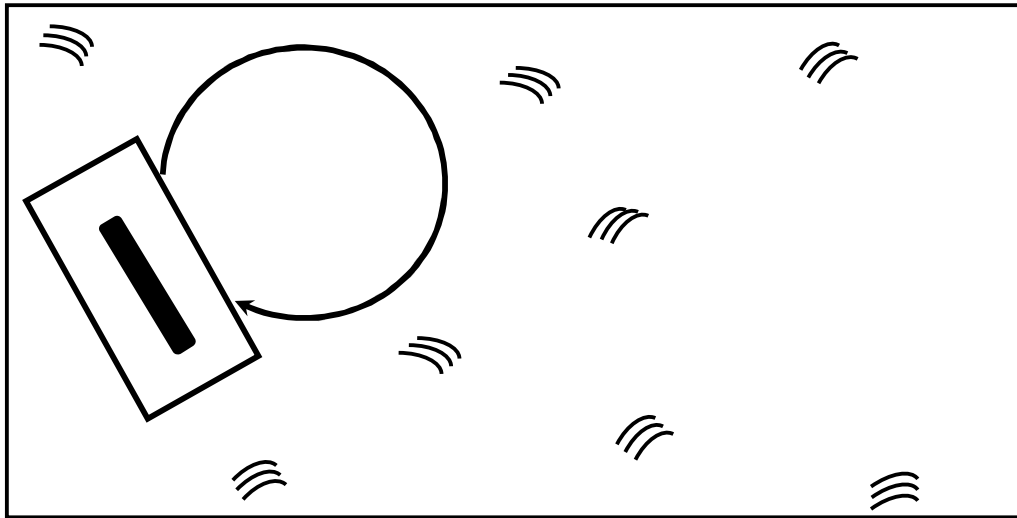
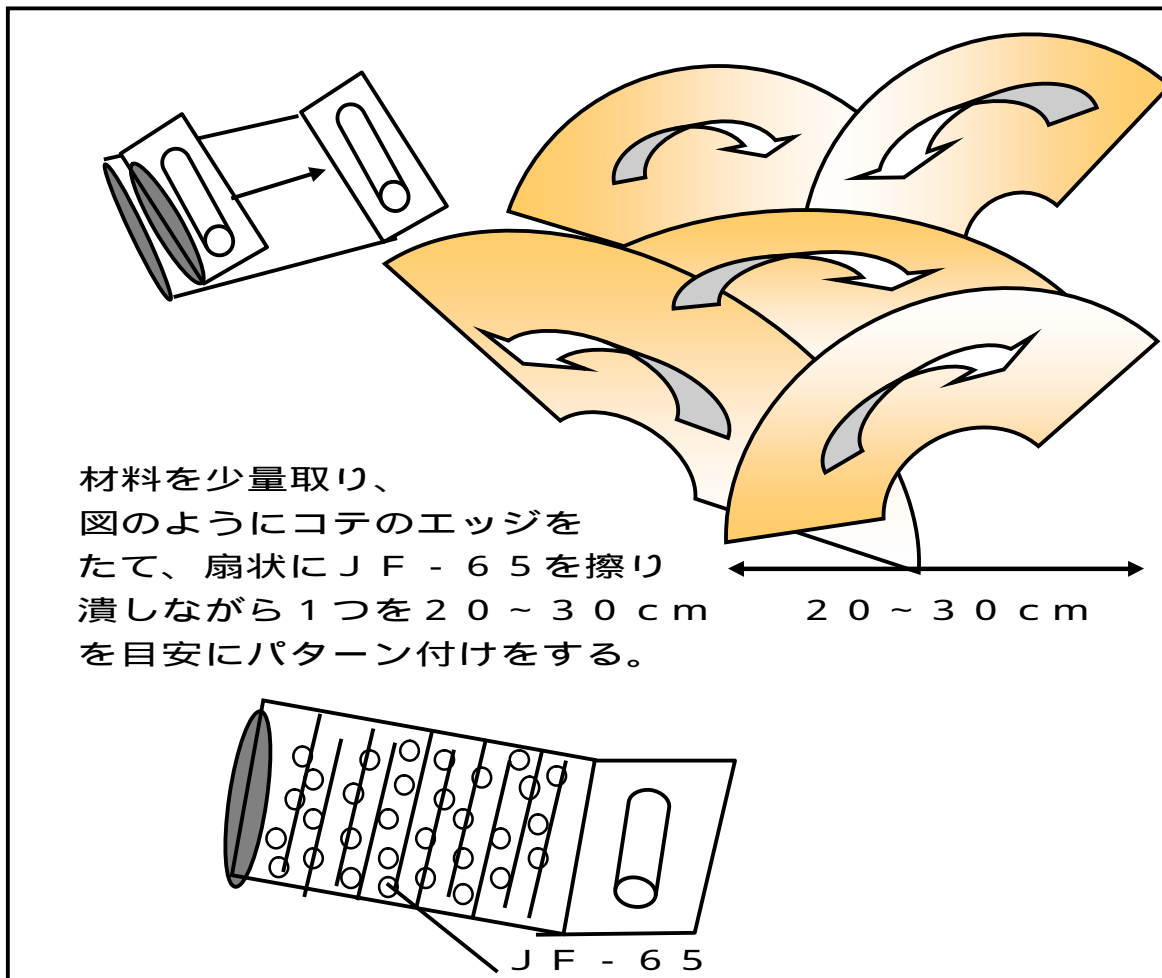


図 - 1

- ・ 下塗りは薄く塗布し、全体を骨材が転がるように荒していき、その後、平滑に押さえる。



材料を少量取り、
図のようにコテのエッジを
たて、扇状に J F - 6 5 を擦り
潰しながら 1 つを 2 0 ~ 3 0 c m
を目安にパターン付けをする。

図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・ 下塗りは混合した J F - 3 の粒径程度に薄く塗って下さい。
(厚いとコテ波が残り、仕上がりが悪くなります。)
- ・ 仕上げは全体的にぼかした壁面となるよう、仕上げコテは何度も動かす。
(骨材が潰れたすじが残らないよう注意する。)
- ・ コテを一定方向(縦又は横方向)に動かして骨材をすりつぶさないようにする。
(コテを動かした方向に模様がそのまま残り仕上がりが悪くなります。)
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ この仕上げは天然石を使用している為、見本と色目が異なる事があります。
- ・ 入隅は塗布量が多くなるよう注意してください。塗布量が多い場合、クラックが発生しやすくなります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

< 不燃仕様の対象パターンについて >

不燃仕様の対象パターンには、マイルドプラスター、マイルドプラスターランダム、シンフォニー、ウォーターフォール、細流、ニュアージュ、乱流、乱流2色、ゆず肌があります。

ステージサンドは、不燃仕様の対象パターンではありません。

以 上